

100億宣言

100th
KUROTA
since 1925



会社外観、主力製品

- 本社所在地：愛知県名古屋市
- 事業概要：自動車部品・産業用機械部品の製造販売及びそれらに付帯する機械器具の製造販売
- 常時使用する従業員：642名（グループ全体・2025年3月時点）
- 現在の売上高：70億円（グループ全体・2025年3月期）
- 法人番号：5180001010141
- Web：<https://www.kurota.com>

株式会社黒田精機製作所（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
黒田 敏裕

人と技術でオンリーワン、全員経営でKUROTAを世界のブランドに

黒田精機製作所は1925年に創業し、戦後いち早く自動車産業との関わりを持ち、以来日本の自動車産業の発展と共に歩んできました。「良い品づくり、人づくり」の企業理念のもと、世界中から信頼される良い品づくりを目指しています。自動車業界の大変革期においても、社員一人ひとりの成長と会社の成長が繋がる仕組みを構築し、「全員経営」で乗り越え、ビジョンを達成したいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

電動ブレーキ用部品(新製品)・自社独自製品を拡販することで2031年にグローバル売上高100億円達成を目指す。



課題

- ・電動ブレーキ用部品の量産体制を構築する
- ・電動化対応による投資拡大と財務健全性を両立させる
- ・海外工場との連携を深め、グローバルな競争力を強化する
- ・現場から付加価値を生み出す環境づくりを整える
- ・自社独自製品の販路を拡大する

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・既存設備や自社開発設備を活用することで、最低限の設備投資で電動ブレーキ用部品のラインを新設する
- ・国内工場で培ったノウハウを海外工場に展開することで、生産性と収益性の向上を実現する
- ・生成AI・IT技術を導入することで業務効率化を図り、現場の意思決定速度を向上させ、改善活動と付加価値向上へリソースを割り当てる
- ・自社独自製品の次期モデルや新規ツールを開発する

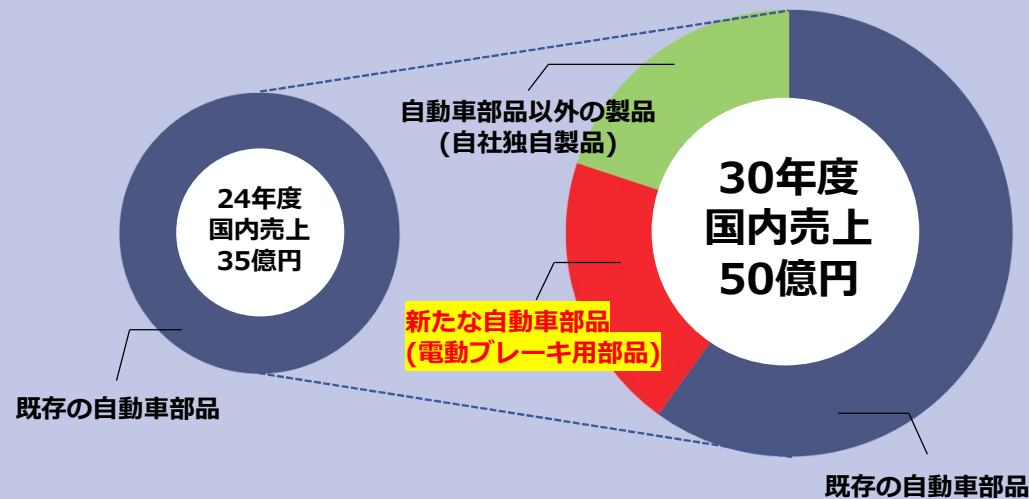
実施体制

- ・事業統括部署を設け、全体の旗振りと進捗管理を実施する
- ・各部署から代表者を選出してプロジェクトチームを発足し、電動ブレーキ事業立ち上げを推進する
- ・電動ブレーキ用部品の生産ライン立ち上げを通じて、今後のKUROTAを担うエンジニアを育成する
- ・海外へ若手社員を出向させる事でグローバル人材を育成する
- ・自社が現在抱える課題や業務上の非効率を解決するためのプロダクトアウト型のアプローチにより新製品開発を推進する

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

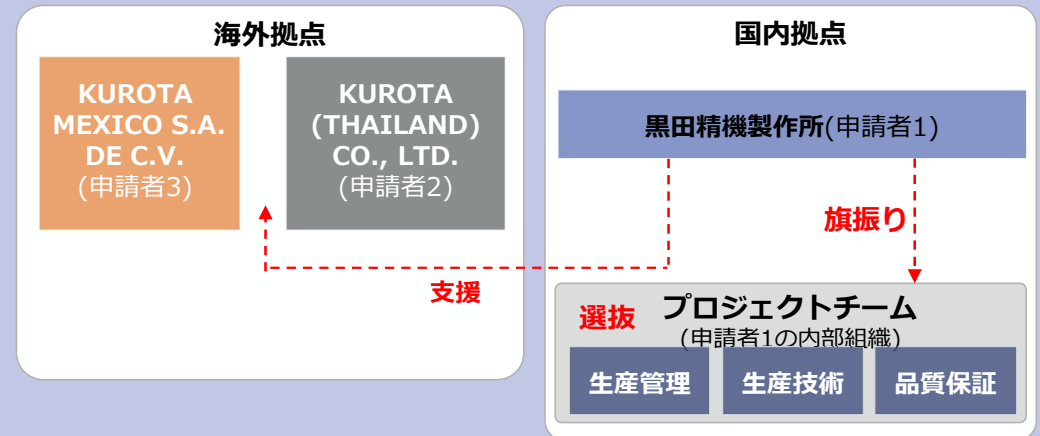
売上高100億円実現の目標と実施体制

図表1：国内売上のポートフォリオ変革



2031年に国内売上50億円、タイ工場売上25億円、メキシコ工場売上25億円を達成し、グローバルで売上高100億円を目指す。
国内事業においては、既存の自動車部品依存からの脱却を図り、事業ポートフォリオの変革を推進する。新製品である電動ブレーキ用部品と自社独自製品でそれぞれ約10億円の売上を目標とする。これにより既存製品の売上構成比を約60%まで軽減し、事業リスクの分散と持続的成長基盤の確立を実現する。

図表2：グループ全体の事業実施体制



電動ブレーキ事業（新たな自動車部品）

事業統括部署を新たに設置し、新事業全体の旗振り役として進捗管理を担う。さらに、各部署から代表者を選抜してプロジェクトチームを発足させ、電動ブレーキ事業の立ち上げを推進する。まずは国内のマザー工場において立ち上げに取り組み、将来的な海外展開に向けた基盤を構築する。

既存の自動車部品事業

国内拠点が中心となり、海外拠点（メキシコ・タイ）を技術・品質などの面で支援する。国内で得たノウハウを横展開し、グローバル規模で統一された生産体制を確立する。